令和２年８月２５日

池田町長　杉本博文　様

新・庁舎、図書館建設町民委員会
委員長　川上洋司

新・庁舎、図書館建設検討結果について（中間報告）

新・庁舎、図書館建設町民委員会は、これまで新庁舎及び新図書館建設に係る協議を重ねてまいりました。今回、新庁舎の位置等について、本委員会としての方向性をとりまとめることができましたのでご報告いたします。

今後の新庁舎の建設にあたっては、本報告が、今後の事業計画や設計等に反映され、町民誰もが利用しやすいとともに、安全で安心な、親しみを持たれる建物となるようご配慮願います。

記

１．庁舎建替えについて

現庁舎は、昭和４８年に建設されて以来、町の中心施設として町民に広く親しまれてきました。しかし、築後４６年が経過し、建物本体や設備等の老朽化、また、耐震性の問題など様々な要因により、建物の安全性が確保できない状況となっています。

本委員会では、庁舎の現状や社会経済情勢等を踏まえた結果、現庁舎は早期に建て替えが必要であるとの結論に至りました。

２．新庁舎の位置について

新庁舎の建設位置については、町民の利便性向上や安全性、将来財政負担等に配慮する必要があることから、３つの候補地を選定しメリット・デメリット等を比較検討いたしました。

また、現交流会館についても、今後発生する設備更新コストや維持管理コストといった財政負担についても検討し、今後の施設のあり方について方向性のとりまとめを行いました。

本委員会では、現交流会館を取壊し、その跡地に新庁舎や新図書館、規模を縮

小した新たな町民の文化交流活動等の発表の場（仮称　町民交流ホール）を建設することが、将来への負担を抑える効果も高く、最適との結論に至りました。

３．今後の要望等について

（１）新庁舎等の建設に向けて

〇新庁舎、新図書館、新町民交流ホール、ほっとプラザについては、一体的な活用が図られ、町民が利用しやすい施設となるよう考慮していただきたい。

〇新庁舎等の建設スケジュールを早急に示していただきたい。

（２）新庁舎等建設に伴う地域経済の好影響について

〇地域内経済循環の観点から町産材を活用していただきたい。

（３）現庁舎跡地活用について

〇現庁舎の跡地を有効に活用していただきたい。